

豊かな自然の保全・再生

- 九頭竜川の下流域はヨシ・マコモ群落等の抽水植物が水際に分布し、オオヒシクイ等の休息・採餌地となっています。中流域はアラレガコの生息地として国の天然記念物の地域指定を受けており、砂礫河原や瀬、淵が連続しています。砂礫河原はコアシサシやカワラハハコ等の砂礫地固有の動植物の生息・生育場となっています。
- 北川は2023年の水質調査の結果、全国の一級河川109水系のなかで水質が最も良好な17河川のうちのひとつに選出され、3年連続の選出となりました。

アラレガコ生息地としての天然記念物指定

- ・ 指定区間: 福井市舟橋の中角橋(17.8k付近)
さかざこよし
～大野市花房の阪谷橋(56.8k付近)まで
- ・ 指定日: 昭和10年(1935)年6月7日



アラレガコ(カマキリ)



天然記念物地域指定 アラレガコの生息地

北川の水質

北川は、過去10年間の調査において6回「水質が最も良好な河川」に選ばれています。



豊かな自然の保全・再生

【九頭竜川 下流域】

○感潮区間となっており、ボラ、スズキ等の汽水魚や海水魚が生息しています。絶滅危惧種のカマキリ(アユカケ・アラレガコ)は11月頃降下し、河口付近や海域の沿岸で産卵します。



九頭竜川河口付近

○水際にはヨシ・マコモ群落等の抽水植物が水際に沿って広く分布している他、高水敷は耕作(主に水田)利用され、ガンカモ類・カモメ類が水域で多く見られます。



下流域の水際(ヨシ・マコモ)

○国の天然記念物に指定されているオオヒシクイやコウノトリの飛来が確認されています。



オオヒシクイ

【九頭竜川 中流域】

○福井市等の平野部を貫流している区間で、砂礫河原や瀬・淵が連続して形成され、アユやオオヨシノボリ、サクラマス等の通し回遊魚が生息・繁殖しています。



九頭竜川中流 24km付近

○砂礫河原はイカルチドリやコチドリの生息・繁殖地、カワラハハコ等砂礫地固有の動植物の生育・生息・繁殖地となっています。



カワラハハコ



イカルチドリの卵



コチドリ

- 水質が最も良好な河川とは
主要河川のうち、以下の両方の条件を満たす河川
- ① 対象河川の各調査地点のBODの年平均値について、全調査地点で平均をとった値が0.5mg/ℓ(※1)
 - ② 対象河川のBOD75%(※2)について、全調査地点で平均をとった値が0.5mg/ℓ
- ※1: 環境省に定めるBODの報告下限値(0.5mg/ℓ)
※2: 測定データを小さい(水質が良好)のほうから並べ、0.75×データ数番目の値